

東京都庭園美術館の改修について

1 設計委託業者選定の経緯

平成20年8月 評議会で、庭園美術館改修には、コンペを実施し、設計に広く才能（特に若手）を募るようご意見をいただく。

平成21年8月 評議会でのご意見をふまえ、通常の参加資格要件を緩和し、プロポーザル方式で実施
（都におけるコンペ導入実績は、都庁舎・国際フォーラムのみ）

平成21年10月 プロポーザル審査の結果、（株）久米設計に設計業者が決定

平成22年4月 評議会で、設計業者選定に評議会の意見が反映されなかったことで、魅力の乏しい設計が行われる危惧が指摘される。

平成22年5月～ 杉本評議員にご助言をいただきながら、評議会からのご意見の趣旨を活かした基本設計の見直しを実施

2 今後の文化施設における設計のあり方

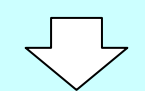
庭園美術館改修で若手登用に結びつかなかった要因

PR方法について

- ・若手募集につながる広報手段が不足していた。
- ・契約手続に必要な時間を考慮した広報が不十分であった。

条件緩和の有効性

- ・条件緩和をしても応募増加にはつながらなかった。



若手設計候補者の中から選定する仕組みの導入を検討

対象となる施設:

- 若手設計者でも挑戦しやすい、小規模な施設
- ランドマークとなるような、文化性、芸術性を求められる施設

3 現在行っている基本設計見直しの柱

展示スペースを最優先としつつ、庭園の豊かな眺望も楽しめるレイアウト

本館連絡通路からの展示室へのスムーズな動線

魅力的な展示スペース

1つは高規格で展示専用、もう1つは个性的かつフレキシビリティを持った、特徴のある2種類の展示空間を設置

スタッフ関連施設等は極力2階に設け、1階に来館者スペースを確保



今後、外部仕上げ、内装、照明計画等についても、評議会のご意見をいただきながら実施設計をすすめ、庭園美術館本館の持つクオリティーを損なわないよう努める



本館



庭園